

中部様式
(調査事業)

令和4年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要 (全体)

犬山市地域公共交通会議

平成19年4月1日設置

調査事業 (計画策定) 令和6年3月 地域公共交通計画策定予定

調査の背景および必要性

本市の交通状況は、国道41号線が市を横断している。名古屋方面へのアクセスがよいことから、名古屋圏における定住都市並びに産業・観光都市として発展してきており、高齢社会への対応が課題となる中で、車への依存がとりわけ高い地域となっている。

本市の公共交通機関は、鉄道では名古屋鉄道が犬山線・広見線・小牧線の3路線を運行しており、犬山駅は犬山線から小牧線・広見線に分岐する結節点であり、本市の玄関口となっている。

路線バスとしては、岐阜乗合自動車(株)の路線バス(岐阜バス)1路線に加えて、市営のコミュニティバス(わん丸君バス)8路線が運行している。

過疎化の進行や自動車の普及・マイカーの定着等により、民間路線バス等の利用者が大きく減少し、民間路線バスが事業の撤退をせざるを得なくなり、その結果、特に本市東部に広がる丘陵地においては、公共交通不便地域が多く発生することとなった。さらに、昭和40年代に造成された大型団地も本市の東部に点在し、鉄道沿線の地域(市中心部・西部・南部)と比べ、高齢化率が高い地区が密集している。

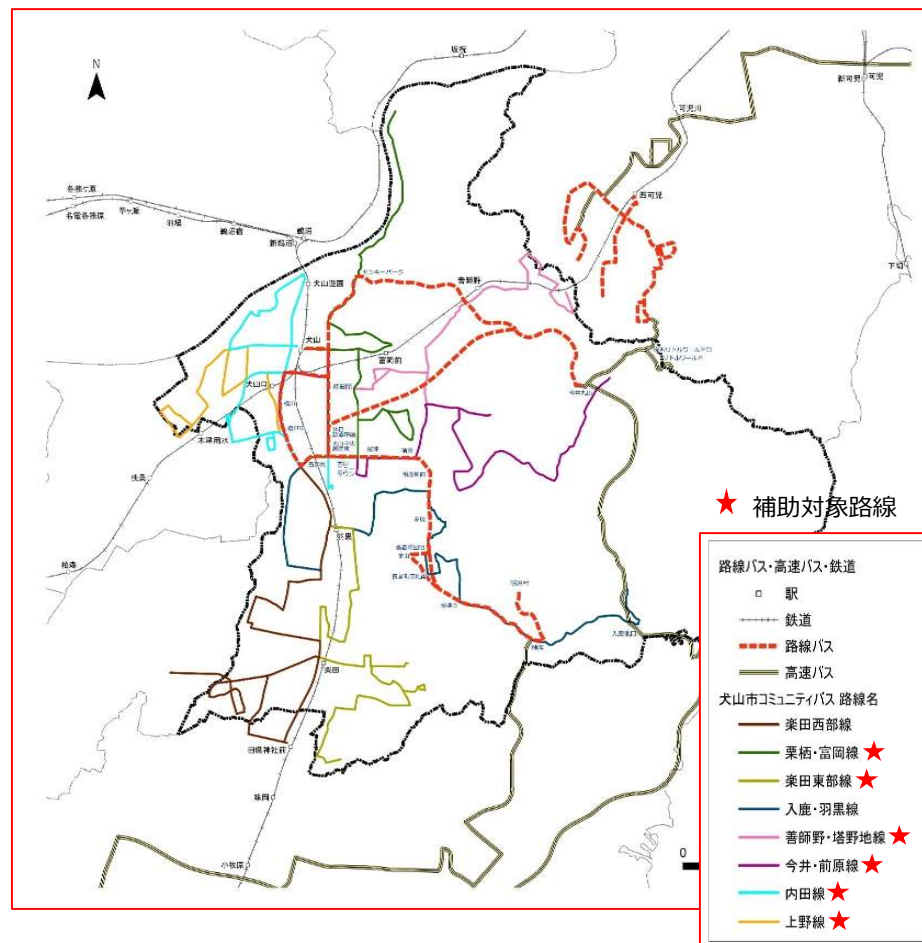
高齢者等の移動手段として、本市がコミュニティバスに負担する年間経費は、約7,400万円に及んでいる。主要な公共施設や市街地、通院や買い物など生活に不可欠な場所への移動手段を確保するために相当な負担をしており、今後も負担は増加していくと見込まれる。一方、高齢化の進展により、公共交通に対する住民のニーズは日々高まっており、これら地域公共交通を取り巻く環境の変化に対応するためには、持続可能な公共交通体系の構築が喫緊の課題であると考えられる。

地域公共交通計画を策定することで、地域特性・公共交通の利用実態・各種ニーズ等を踏まえた、本市におけるまちづくりや観光等と連携した持続可能な公共交通体系の構築を目指す。

また、本市では、立地適正化計画及び都市計画マスタープランを令和5年度に策定予定であり、同計画等と連携しながら、地域公共交通計画を策定していく。

なお、本市は地域公共交通網形成計画が未策定であることから、地域公共交通計画を策定するにあたり、現状把握や状況整理が不足している状況にあるため、今回策定に係る調査を実施する必要がある。

現状の公共交通ネットワーク



【市内公共交通の役割分担】

- 鉄道：市域を跨ぐ広域輸送
- 民間バス：主に観光路線を軸とした輸送
- タクシー：民間バス及びコミバスでカバーできない領域(地域・時間)の輸送
- コミバス：鉄道への接続を軸とした輸送

実施した調査およびその結果明らかになったこと

事業内容	結果概要
<p>上位関連計画の整理</p>	<p>本市の上位計画及び関連計画により、本市が目指す将来都市像やまちづくりの基本方針を整理し、公共交通分野に係る方針や施策を整理した。</p> <p>～本市の上位関連計画～</p> <p>①第6次犬山市総合計画(案) ※R5.3策定予定 公共交通に関する取組みの方向性が示されている。</p> <div data-bbox="815 667 1805 903" style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p>■公共交通ネットワークの形成</p> <p>「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を明らかにし、まちづくりと連携した公共交通ネットワークの構築を図ります。</p> <p>■公共交通を利用しやすい環境整備</p> <p>公共交通機関や自転車等の利用促進と利便性の向上を図るため、鉄道駅周辺における駐車場、停車スペースや自転車等駐車場の維持・確保を図ります。</p> </div> <p>②犬山市都市計画マスタープラン(案) ※R5.3策定予定 都市づくりにおける交通の目標や、鉄道・バス等・駅前広場・駐車場等に関する整備方針が示されている。</p> <div data-bbox="815 1082 1666 1145" style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p>交通 ●移動しやすいネットワークを構築する</p> </div> <p>③犬山市立地適正化計画(案) ※R6.3策定予定 まちづくりにおける公共交通の方針が示されている。</p> <div data-bbox="815 1321 1805 1401" style="border: 1px solid #90EE90; padding: 5px;"> <p>公共交通 公共交通での移動が便利で、自動車に頼らなくてもよいまち</p> </div>

実施した調査およびその結果明らかになったこと

事業内容	結果概要
地域・交通特性の把握	<p>本市の地域特性や公共交通の運行・利用実態を整理し、地域公共交通に係る現状を分析し、課題の整理につなげた。</p> <p>～本市の地域特性として整理した項目～</p> <p>①人口の推移 ②年齢3区分別人口・割合の推移 ③将来人口の見通し ④施設の分布 ⑤観光</p> <p>～本市の公共交通の現状として整理した項目～</p> <p>①鉄道・バス・タクシーの利用実態 ②鉄道・コミュニティバスの人口カバー率 ③コミュニティバスの運行経費 ④駅端末交通手段の状況 ⑤代表交通手段の状況 ⑥目的別移動状況</p>
各種ニーズ調査の整理	<p>過年度に実施した各種ニーズ調査を活用し、地域公共交通計画策定に向けた基礎指標を分析し、集約課題につながる個別課題を抽出した。</p> <p>～過年度に実施したニーズ調査～</p> <p>①市民アンケート調査 18歳以上の市民2,000人対象（無作為抽出） 回収：915票（回収率：45.8%）</p> <p>②バス利用実態調査 わん丸君バスの利用者対象（車内で調査カードを手渡し） 回収：506票</p> <p>③企業等送迎バス実態調査 名鉄犬山駅の東西ロータリーにおいて、送迎バス等の、企業(学校・病院)名、到着(発車)時刻、乗降数、車両のサイズについて把握</p>

調査結果の地域公共交通計画への反映

本市における地域や交通の特性、各種ニーズ調査より個別課題を抽出し、そこから集約課題を導き、基本方針を定めた。

個別課題

調査項目	抽出課題	地域公共交通の課題				
		高	中	低	未	不明
上地域部地域	1 緊急災害時における公共交通の確保は、公共交通に頼る形での対応は、まちづくりと連携した公共交通ネットワークの形成で対応し、新しい役割を担っていく。	●	●	●	●	●
	2 大規模災害発生時の公共交通の確保は、交通について、移動しやすいネットワークを構築する。という目標を掲げ、調査の対称調査やニーズに鑑みた公共交通ネットワークの形成、緊急対応体制、危機管理を推進している。	●	●	●	●	●
	3 大規模災害発生時の公共交通は、公共交通に頼る形での対応は、まちづくりと連携した公共交通ネットワークの形成で対応し、新しい役割を担っていく。	●	●	●	●	●
公共交通の取組の課題	4 高齢化が進む地域や高齢者の増加に伴って、地域の公共交通を維持し、持続可能な公共交通ネットワークの構築が求められている。	●	●	●	●	●
	5 高齢化が進む地域や高齢者の増加に伴って、SDG（Sustainable Development Goals「持続可能な開発目標」）の目標「目標10（貧困）と目標11（住み続けられるまちづくり）」の達成が求められている。	●	●	●	●	●
	6 新型コロナウイルスの感染拡大によって公共交通事業者は厳しい状況にあり、with コロナにおける公共交通サービスのあり方や、減少した利用者を目指す事業者の確保が課題となっている。	●	●	●	●	●
	7 高齢者や障害者に対する公共交通の利便性は、高齢者や障害者の利用に際して、乗降（バスターン）を目的とした公共交通サービスが求められている。	●	●	●	●	●
	8 高齢者や障害者に対する公共交通の利便性は、高齢者や障害者の利用に際して、乗降（バスターン）を目的とした公共交通サービスが求められている。	●	●	●	●	●
大山の状況	9 高齢者や障害者に対する公共交通の利便性は、高齢者や障害者の利用に際して、乗降（バスターン）を目的とした公共交通サービスが求められている。	●	●	●	●	●
	10 リニア中央新幹線は地域公共交通ネットワークを形成し、変化する状況において、社会・経済に大きな波及効果をもたらすと見られている。	●	●	●	●	●
	11 本市の人口は平成22年をピークに減少し、今後も減少傾向は継続することが予測されている。	●	●	●	●	●
	12 高齢者や障害者に対する公共交通の利便性は、高齢者や障害者の利用に際して、乗降（バスターン）を目的とした公共交通サービスが求められている。	●	●	●	●	●
	13 本市には7つの鉄道駅や乗降バス、わんぱくバス、タクシー及び地域のコミュニティバスが運行されている。	●	●	●	●	●
	14 地域公共交通の取組は、新型コロナウイルス感染症の影響により平成22年は減少している。	●	●	●	●	●
	15 高齢者や障害者に対する公共交通の利便性は、高齢者や障害者の利用に際して、乗降（バスターン）を目的とした公共交通サービスが求められている。	●	●	●	●	●
	16 市外公共交通による人口カバー率は、65%を有するものの、市外に居住する高齢者や障害者に対する公共交通サービスの確保が課題となっている。	●	●	●	●	●
	17 本市の公共交通サービスは、高齢者や障害者に対する公共交通サービスの確保が課題となっている。	●	●	●	●	●
	18 交通事業者とリニアが、「ダイヤ合わせや乗降設備がない」「ダイヤ変更がない」といった課題の抽出がされている。	●	●	●	●	●
19 交通事業者とリニアが、「ダイヤ合わせや乗降設備がない」「ダイヤ変更がない」といった課題の抽出がされている。	●	●	●	●	●	

調査項目	抽出課題	地域公共交通の課題				
		高	中	低	未	不明
上地域部地域	20 高齢者や障害者に対する公共交通の利便性は、高齢者や障害者の利用に際して、乗降（バスターン）を目的とした公共交通サービスが求められている。	●	●	●	●	●
	21 高齢者や障害者に対する公共交通の利便性は、高齢者や障害者の利用に際して、乗降（バスターン）を目的とした公共交通サービスが求められている。	●	●	●	●	●
	22 高齢者や障害者に対する公共交通の利便性は、高齢者や障害者の利用に際して、乗降（バスターン）を目的とした公共交通サービスが求められている。	●	●	●	●	●
大山の状況	23 高齢者や障害者に対する公共交通の利便性は、高齢者や障害者の利用に際して、乗降（バスターン）を目的とした公共交通サービスが求められている。	●	●	●	●	●
	24 高齢者や障害者に対する公共交通の利便性は、高齢者や障害者の利用に際して、乗降（バスターン）を目的とした公共交通サービスが求められている。	●	●	●	●	●
	25 高齢者や障害者に対する公共交通の利便性は、高齢者や障害者の利用に際して、乗降（バスターン）を目的とした公共交通サービスが求められている。	●	●	●	●	●
	26 高齢者や障害者に対する公共交通の利便性は、高齢者や障害者の利用に際して、乗降（バスターン）を目的とした公共交通サービスが求められている。	●	●	●	●	●
	27 高齢者や障害者に対する公共交通の利便性は、高齢者や障害者の利用に際して、乗降（バスターン）を目的とした公共交通サービスが求められている。	●	●	●	●	●
大規模災害発生時の公共交通	28 高齢者や障害者に対する公共交通の利便性は、高齢者や障害者の利用に際して、乗降（バスターン）を目的とした公共交通サービスが求められている。	●	●	●	●	●
	29 高齢者や障害者に対する公共交通の利便性は、高齢者や障害者の利用に際して、乗降（バスターン）を目的とした公共交通サービスが求められている。	●	●	●	●	●
	30 高齢者や障害者に対する公共交通の利便性は、高齢者や障害者の利用に際して、乗降（バスターン）を目的とした公共交通サービスが求められている。	●	●	●	●	●

集約課題

基本方針

- 1 中心市街地や市内各拠点の連携・活性化に資する公共交通体系の確保・維持
- 2 犬山駅や総合犬山中央病院等の交通結節点における快適な乗継環境の確保
- 3 安全・安心に利用できる公共交通の確保
- 4 既存公共交通に新たなモビリティを加え、地域の移動特性に応じた適切な移動手段の確保
- 5 市民・事業者・行政などすべての関係者が連携・協働した取り組みの実施

- 1 基本方針1 まちづくりと連携した公共交通ネットワーク
- 2 基本方針2 快適な乗り継ぎ環境
- 3 基本方針3 安全・安心で持続可能な公共交通
- 4 基本方針4 地域のニーズに対応した公共交通サービス
- 5 基本方針5 すべての関係者の連携・協働